桜塚小学校だより　すべてのこどもの命と人権がまもられ、生きる力のつく桜塚小学校

さくらづか

第６号
2021. 6. 3
発行

「じぶんがすき」「なかまとともに」「ゆめがいっぱい」

生活目標：雨の日の遊びをくふうしよう！

ちょうど､1 学期の中間地点６月を迎えました。６月は梅雨、雨の多い月ですが、今年はすでに梅雨に入ったので５月も雨の日が多かったですね。地球の気候が少しずつ変動しているようですね。これも「地球の温暖化」現象なのかもしれません。生活目標にもあるように、雨の日の素敵な遊び方、考えてみてくださいね。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置「緊急事態宣言」が６月２０日まで延長となりました。感染者数は減少したものの、感染力の強い変異ウイルスの出現、医療体制のひっ迫など、まだまだ気を緩めることができない日が続きます。加えて、熱中症対策も必要となってきました。感染症対策と熱中症対策のバランスがとても難しいですが、基本的には熱中症対策を優先に、体育等においてはマスクを外して行うことしています。また、休み時間や登下校時等においても、暑くなってしんどくなる前にマスクを外そう！と呼びかけています。外へ出る時は、水筒と帽子を忘れずに！熱中症対策も頑張ってほしいと思います。

マスク着用についてです。学校生活で同じ活動をしていても「しんどくない子」と「とてもしんどい子」とあります。また、色々な事情によりマスク着用が難しい子もいます。マスクを着用していないからと言って注意したりせず､「しんどいのかな？」「何か理由があるのかな？」と想像し見守りましょう！

６月朝会の話～ひゃくばんめのさる～

始業式では、最高級のあいさつをしよう！という話をしました。最高級のあいさつとは①毎日、②相手に伝わるように、③自分からすすんで、④笑顔で、⑤気持ちの良いあいさつ、のことです。４月から、毎朝校門にたってあいさつをしていると高学年を中心にとても素敵なあいさつをしてくれるので、一日が気持ちよく過ごせます。でも、中には恥ずかしいのかうつむいて通りすぎたり、知らんぷりして通りすぎたりする人もいます。だから、「桜塚小学校の子ども達が、最高級のあいさつができるようになるにはどうすればいいか」と考え、ケン・キース・ジュニアの「百番目のサル」の話をしました。このお話は、宮崎県にある幸島（こうじま）に生息している「さる」の話をもとに、創られた絵本です。幸島のさるは「文化をもったさる」（いも洗い行動）として世界的にもとても有名で、1952 年に京都大学の研究者によって発見されたそうです。

しあわせじまにたくさんのさるがすんでいました。さるたちは、えづけのためにもらうさつまいもがだいすきでした。けれども、さつまいもはすなだらけだったので、たべるとくちのなかがじゃりじゃりしました。あるひのこと「いも」というさるが、すなだらけのいもをうみであらえばおいしくたべられることをしりました。「いも」はそれをじぶんのおかあさんにおしえました。ともだちにもおしえました。そしたら、ともだちのおかあさんもいもをあらってたべるようになりました。そして、つぎからつぎへとつたわっていき、１００ぴきめのさるがさつまいもをあらうのをしったとき、とつぜんなにかがおこりました。しまじゅうのさるがさつまいもをあらってたべているのです。けれど、おこったことはこれだけではありませんでした。ちかくのしまのさるたちもあらってたべているのです。≪つづく≫

この先は、また絵本で読んでほしいと伝えました。１人目から２人目、３人目とひろがっていく時は時間がかかります。海でサツマイモを洗っていたら波にさらわれるのでは・・・本当においしいのかな・・・など、最初はさるも半信半疑だったと思いますが、たくさんのさるがいもを洗い始めると、いいことなのだと思いあっという間にひろがっていったのだろうと思います。あいさつも同じです。気持ちがいいとわかってやり始めると、自然とどんどんひろがっていくものです。桜塚小でも幸島のさるのような現象が起きるといいなあと思っています。

**みんなで気持ちの良い朝をむかえるために、
最高級のあいさつをひろげていきましょう！**

おしらせ

①朝、美化委員会のみなさんが緑の募金活動を行っています。明日（４日金）が最終日です。ご協力よろしくお願いします。
②育友会文化体育委員会が「三行詩の作品募集」を行っています。詳細は、桜塚小学校ホームページをご覧下さい。